

アジア草の根助成

2021 年度応募要項

2022 年度活動団体を募集します

草の根市民基金・ぐらん運営委員会

『草の根市民基金・ぐらん』は、生活クラブ生活協同組合の組合員をはじめ多くの市民の皆さまからの寄付によって運営されている“市民による市民活動を支援する助成のしくみ”です。

草の根の市民活動を応援するため、1994年に生活クラブ生協・東京により開始しました。現在はNPO法人まちぼつとにが運営しており、「東京都内」と「アジア」を中心に活動するNPO・NGOなどの市民団体に支援を行っています。

既に大きく事業展開している活動にではなく、小さくとも社会にとって必要な団体、必要な活動、また設立間もない団体や取り組みをはじめたばかりの活動などを応援しながら、共に発展していくことを目指しています。

助成金額は決して大きくありませんが、ほかの多くの助成とは違い、お金の使用用途を限定せず、現場で使いやすいように可能なかぎり広く認めています。

応募要項をよくお読みいただき、ふるってご応募ください。

※新型コロナウイルス等、不測の事態により内容やスケジュールが変更となる可能性がございます。

最新情報は web サイトにて随時ご案内させていただきますのでご確認ください。



草の根市民基金・ぐらん
Citizen's Fund Grand

I 基本的な考え方

『草の根市民基金・ぐらん』は市民セクターづくりに貢献します

今日、市民が連帯して自らが問題を解決するとともに、新しい社会のしくみやルールをつくりだしていく必要性が高まっています。特に、地球環境、地域福祉、教育、まちづくり、海外との開発協力などの課題は、行政にサービスや規制を求めるだけでは不十分で、市民自らが参加し、知恵・汗・お金を出しあってこそ、対応できるものです。

これまでの日本社会は、企業・行政という二つの大きなセクターが中心でしたが、いま、市民の協同・公益的な活動が新たな部門としてとらえられ、注目され、取り組みがすすめられています。

草の根市民基金・ぐらんは、地球上でのできごとを視野にいれながら、市民の自治と協同にもとづく地域社会を担う市民活動、市民セクターの拡充に寄与していきたいと考えています。

市民活動の新しい担い手を応援します



地域社会をつくりだそうとすると、次のような活動が求められています。

- 専門的な知識を活用して、政策を提案していく活動
- 問題がおきた後で対処するのではなく、問題を先取りしていく活動
- 行政まかせではなく、継続する事業として市民自らがすすめる活動

これらの活動はお互いに関連しあって、市民の参加や自己成長を促し、自治を拡大していくことにつながります。

また、国をこえた人びとの交流が広がり深まる中で、地域での活動が海外にも目をむけ協力し学びあう活動として展開される必要もあります。

草の根市民基金・ぐらんは、特にこうした指向性をもつ活動を応援します。

社会貢献・自主性・非営利・公開が原則です

ぐらんは、以下の原則をもとに助成します。

原則1;社会貢献

私的な利益を求めめるのではなく、社会の協同・公共の利益を追求していること。

原則2;自主性

メンバーの自発性にもとづき民主的に運営されて、他の団体から独立していること。

原則3;非営利性

その活動・事業から生じる利益を、構成員で分配していないこと。(必要経費は除外します)

原則4;情報公開

活動の内容や財務の状況を自ら積極的に公開していること。

II アジア草の根助成

1. 助成

(1)2021年度助成方針

- アジアの市民活動を支援している日本のNGO等の市民団体に新規の助成を行います。

アジアには冷戦終結後も先進国による利権争いの道具として、または、戦場として絶え間ない不幸な歴史が繰り返されてきている国々が多く存在しています。持続可能な環境、社会作りがそこに暮らす人々で進められることが必要です。

私たちは同じアジアの一員として助成を行うことで、あらためてその国のことを学び、人や暮らしを知ります。そして、お互いを理解しあうことで平和の礎を築いていきます。

複雑な政治的駆け引きから本当に必要な人に必要な支援が行き着かない現状もある中で、必要な支援を届けることができる、市民間で顔の見える助成を行います。

(2)助成の対象となる団体

- アジア諸国で、地域の市民活動を応援する市民団体に助成します。対象国及び地域について、ご不明な場合はお問い合わせください。
- * 団体の規模、設立年、活動歴、構成員の国籍を応募の条件とはしません。
- * 2019、20、21年度の助成団体は助成対象となりません。
- * 自己資金で十分な事業展開ができると考えられる団体は助成の対象としませんが、それらの団体が協力して社会的基盤を整備するような活動は対象とします。

(3)助成額および助成期間

- 新規1団体に対して年間50万円を上限に、原則として2年間継続して助成します。
- 2年目の助成については、中間審査によってその是非を判断します。よって、助成の対象となる事業期間は2年間(2022年4月～2024年3月)となります。
- 助成事業が1年目で終了した場合、または、助成事業の目的が大きく変更となり、草の根市民基金・ぐらんの基本的な考え方と外れていると中間審査で判断した場合は、2年目の助成は行いません。

(4)助成の対象となる費用

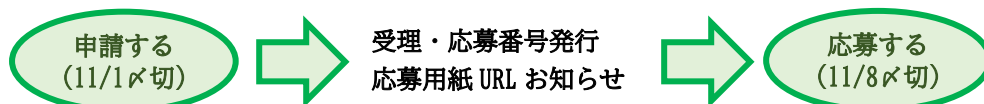
- 経常的な運営費の一部(会議費、交通費、講師謝礼、資料購入費、臨時的な人件費の一部など)
- 事業立ち上げのための費用(人件費、広報費、コピー・FAX・PCなどの購入費、事務所賃貸料の一部など)
- * 営利に供する費用は対象となりません。

(5)活動分野の例

- 応募団体の活動分野・テーマは特に限定しません。過去の実績として以下のような活動に助成しています。
 - * カンボジアにおける水上コミュニティにおける持続可能な教育アクセスの改善
 - * インドネシアにおけるテロと紛争の平和的解決
 - * スリランカ北部の、生活手段を失った女性の自立支援と子どもへの栄養・保育支援
 - * ラオス人作家による絵本の現地出版と作家の育成
 - * タイ国北部における農村堆肥ネットワークの育成
- 詳しくはぐらんWebサイトの「助成金の申請」ページ内「よくあるご質問」をご覧ください。

2. 応募の方法

(1)応募の流れ



応募は郵送またはメールどちらかを選択できます。*応募書類の持ち込みは受け付けていません。

※全ての応募には申請が必要です。申請されないと応募ができませんのでご注意ください。

申請は、ぐらんのWebサイトの「助成金の申請」ページの「申請する」ボタンからのフォームをご利用ください。

フォームのご利用が難しい場合はお電話でお問い合わせ(03-5941-7948 / 平日10:00-17:00)下さい。

※ 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)による影響で担当者が電話対応できない場合がございます。

申請受付後、事務局から応募番号が発行されます。また、応募用紙ダウンロード専用URLもお知らせいたしますので、応募用紙に応募番号を必ずご記入いただき、必要書類と合わせて応募してください。

応募に必要な書類

1. 「アジア草の根助成」応募用紙
2. 団体の規約(またはそれに準ずるもの)
3. ニュース類(活動内容が分るもの)
4. 決算書・予算書(直近の年度のもの)

申請受付期間

申請:2020年10月4日(月)～11月1日(月)17:00迄

※締切間際は混雑により応募用紙発行が遅れることもありますのでお早目の申請をお願いします。

応募締切: 2020年11月8日(月)

上記に定める期間に、応募用紙に必要な事項を記入し、上記1～4までを提出してください。

郵送での応募:すべての書類を同封の上、簡易書留でお送りください(11月8日当日消印有効)。

- 応募用紙送付先 〒160-0021 新宿区歌舞伎町2-19-13ASKビル501
NPOまちぽっと「草の根市民基金・ぐらん」

メールでの応募:全てのデータをPDFにして応募用紙記載のアドレスに送信してください(11月8日23時59分まで)。

3. 選考

(1)ヒアリング

- 必要に応じて運営委員または事務局が応募団体からヒアリングを行います。

(2)書類選考

- 選考対象となる応募団体が多数の場合は、下記(5)の選考基準により公開選考会への参加団体を書類で選考します。

(3)事前投票(ポイントアクション)

- 公開選考会参加団体を対象として草の根市民基金・ぐらんへの寄付者による「事前投票(ポイントアクション)」を行い、その結果は公開選考会に反映されます。

(4)公開選考会

- 助成の決定は書類選考を通過した団体を対象にして原則公開で行います。公開選考会は2021年2月26日(土)午後12時に都内での開催を予定しています。当日不参加の場合棄権の取扱いになりますのでご注意ください。
- 参加団体によるプレゼンテーション後、選考審査員(運営委員+寄付者から公募で選出された選考委員)による投票を行い、助成先を決定します。
- 公開選考会参加者による当日投票も同時に行います。

※ なお、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)など不測の事態の場合はオンライン選考となる場合もございますので、その際には別途お知らせいたします。

(5)選考基準

- 助成先を選考するにあたって、下記の視点に重点を置きます。
 - ☆ 社会貢献 = 私的な利益だけでなく、社会の協同・公共の利益を追求すること
 - ☆ 自主性 = 構成員の自発性に基づき、民主的に運営されていること
 - ☆ 公開性 = 活動内容や財務状況を自ら積極的に公開していくこと
 - ☆ 先駆性 = 従来の慣習にこだわらず、進んで新しいことに挑戦すること
 - ☆ 継続性 = 継続する事業・活動として、市民自らが進めること
 - ☆ 発展性 = 活動や事業を通じて人や組織も育ち、波及効果が予想されること
 - ☆ 地域コミュニティ = 現地の課題に即している、また現地の人を巻き込んで活動していること
 - ☆ 資金調達 = 他の方法による資金調達が比較的困難な活動
 - ☆ 事業実施能力 = 団体・事業の財政責任が十分に確保されている活動

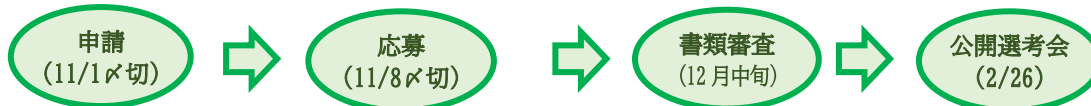
4. 選考結果および助成の実施

- 選考結果は当該団体に文書で通知し、草の根市民基金・ぐらんのニュースレターやWebサイト等に掲載します。
- 助成を受ける団体は覚書を交わしたうえで助成金を速やかに給付します。

5. 報告書の提出、報告会への参加

- 助成を受けた団体は、2023年の指定した期日までに中間報告書を運営委員会に提出し、その後中間審査を受け、継続助成の是非を審査されます。
- 継続助成を受けた団体は、2024年の交流集会で最終報告を行っていただきます。また2022年の交流集会についても中間報告をお願いします。
- 活動実績・成果・課題・収支報告・写真などを含む内容の最終報告書の提出を義務とします。報告書は、寄付者に寄付金の活かせられ方を報告し、今後の草の根市民基金・ぐらんの運動を広げていくことを目的としています。
- 助成活動中は団体のWebサイトや広報物にぐらんのロゴや「草の根市民基金・ぐらんから助成を受けています」等の文言の掲載の他に草の根市民基金・ぐらん広報へのご協力をお願いしています。またイベント等のお知らせをいただければ草の根市民基金・ぐらんのWEBサイト等で紹介していきます。

2021年度草の根助成の流れ



下記内容は、「草の根市民基金・ぐらん」のWebサイトをご覧ください。

- ・ これまでに助成を受けた団体の情報や、選考会の様子など
- ・ 応募用紙の書き方と要項のダウンロード
- ・ 応募に関するご質問は【お問い合わせ】フォームから。
お電話でも受け付けていますが新型コロナウイルス等の影響により担当者が電話に出られないこともございます。

草の根市民基金・ぐらん事務局
NPO法人まちぽっと(小林)
〒160-0021 新宿区歌舞伎町2-19-13ASKビル501
TEL: 03-5941-7948(平日10:00-17:00)
FAX: 03-3200-9250
<http://machi-pot.org/>

<http://citizensfund-grand.org/>

TEL: 03-5941-7948(平日10:00-17:00)